

# ロボット・インテグレーション企業の設立

基盤技術分野 ものづくり技術全般  
川下産業分野 ロボット等分野

川上・川下ネットワーク構築事業 平成18年度 次世代ロボットインターフェイス推進ネットワーク構築事業

## 新事業会社・ネットワーク構築の背景及び経緯

### マッチングだけでなく川下企業等ユーザー発掘

サービスロボットは、黎明期であり、川下企業等のユーザーがほとんどいないため、量産型の川下企業がほとんど存在しない。本事業を通して、一般的な川上・川下企業のマッチングだけを行うスキームに合わないことがわかった。そのため、事業化に向けて、

川下企業等のユーザーの発掘を行った。ロボットは、多岐に渡る技術・サービス・部品の集合体のため「摺り合せ」が必要であり、インテグレーションをしなければ、マッチングだけでは、ロボット製品として完成しない実態があった。

## 新事業会社・ネットワーク構築の概要及び成果

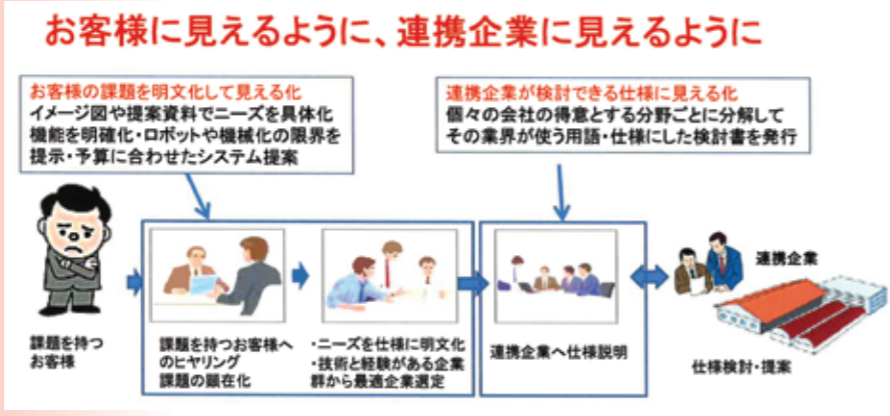
### ロボット・インテグレーション会社の設立

本事業で川上企業として参加した大阪のロボット開発中小企業群は、ニーズを持つユーザーを発掘し、そのニーズに合った川上企業の技術を選定し、ロボット開発を行うサービスロボットの「ロボット・インテグレーター」が必要であると認識をした。

く研究・試作レベルで川上企業に発注をするまでに至っていない。そこで、ニーズを持つユーザーをインテグレーション企業が直接開拓を行い、川下製造企業を通さず、川上企業の保有技術やサービス・製品を活用して、ロボット開発を開始した。

この結果に基づき、大阪の川上中小企業群は、共同出資を行いサービスロボットの「インテグレーション企業」を大阪市内に平成19年7月に設立した。黎明期のロボットでは、川下製造企業も市場が無

平成19年設立後、サービスロボット及びRT開発を20件程度行い、平成22年12月末現在、総受託額は2.5億円程度になっている。これにより、関西地域の中小企業の新たなビジネスになっている。



## 川上・川下ネットワーク構築事業の果たした成果・役割について

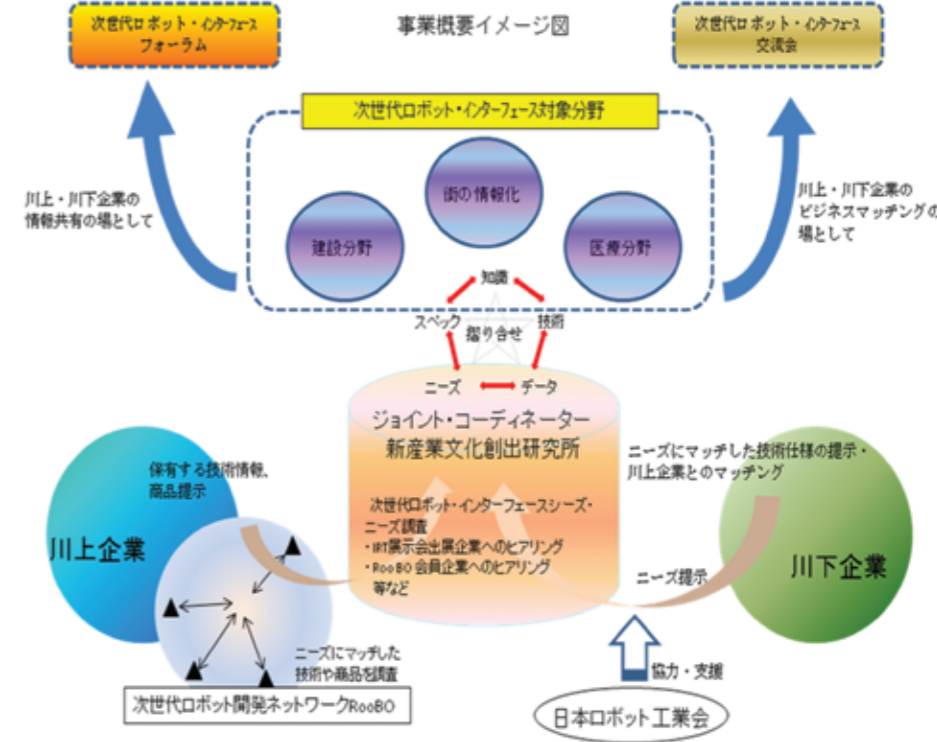
### ユーザーニーズを発掘、課題解決会社を選定し受託開発へ

当事業では、次世代ロボットインターフェイス フォーラム、建設・医療・街の情報化のテーマ別交

流会、国際次世代ロボットフェア等でのシーズ・ニーズ調査を実施した。ジョイント・コーディネータは、川下企業及びユーザーの発掘を行うとともに、ユーザーニーズの発表会及び研究会を設置し、運営を支援し、川上企業の受注件数5件の成果を得た。

川下企業とのマッチングは、会場に川上企業・川下企業を集め、ニーズ発表及び川上企業の技術発表を行った。同一会場に集まるだけでなく、大阪の川上企業と東京の川下企業やユーザーをなるべく多くマッチングするため、東京・大阪それぞれの会場に大型スクリーンを設置し、テレビ会議形式で相互通話を行っ

た。当事業を通じて、ユーザーニーズを発掘し、その課題を解決できる川上企業を参加者の中から選定し、新事業会社の設立の際には、実際にロボット開発を受託することにつながった。



## ワンポイントアドバイス

### トータルソリューションの提供が重要

シーズ・ニーズのギャップを埋め、両者をつなぐことが大きなポイントである。特に、ロボット分野は、川下企業分野でもロボットシーズを顕在化させることが重要となる。ニーズ発掘・明確化～製品化までのトータルソ

リューションを提供することが重要であり、そのためには中小企業のものづくり実用化に至る支援がポイント。サブ・ユニット等を組み上げて、川下企業ニーズに応じた提案等のできる力のある中小企業をみつけることが課題となる。

問 い 合 せ 先	企業名	知能技術 株式会社
	担当者	大津良司
	所在地	大阪府大阪市北区西天満2-6-8堂島ビルディング414
	TEL	06-6362-1008
	FAX	06-6362-1018
	メール	info@chinou.co.jp
	実施機関名	株式会社 新産業文化創出研究所
	所在地	東京都千代田区外神田4-14-1
	担当者	廣常啓一
	TEL	03-5297-8200

ジョイント・コーディネータ名	大津良司
FAX	03-5297-8203
メール	hirotsune@icic.jp

II. 新事業会社・ネットワーク構築に成功した事例